

# 学生募集戦略検討委員会

## 令和3年度「学募共同事業」第3回勉強会を開催しました

2021年12月21日(火)に「学募共同事業」勉強会をオンラインで開催し、15大学29名にご参加いただきました。

### 1. 入試に関わる事例紹介および情報交換

2大学の事例紹介および意見交換を行いました。

#### ○事例1 長崎国際大学（会員校）

【報告者】入試・募集センター センター長 福田哲也 氏/QSP事務局コーディネーター 池山剛彦 氏

「地域創生支援リーダー育成入試」の取り組みが紹介されました。これは、九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム(QSP)に加盟している3大学（長崎国際大学、長崎外国語大学、鎮西学院大学）が共同で実施している入学者選抜試験です。

参加者からは、共通試験の方法、大学間で出願数が異なる中での受験料の取り扱い等について質問がなされました。

#### ○事例2 桜美林大学

【報告者】株式会社リクルート 飯島隆介 氏

探究活動に注力する学生を評価し、大学教育に接続する目的で、2022年度総合型選抜入試に導入される「探究入試 Spiral」、および2023年新設予定の教育探究科学群について紹介されました。

#### ○意見交換

冒頭、当協議会 丸山悟会長（日本福祉大学理事長）より、「私立大学は、多様な入試制度を有していることが特徴的。しかし、学生募集の効果を追求するだけでなく、大学で学生をどう育てるのかを明確にし、入学後の学びの促進に繋がるプログラムとセットで入試制度を検討するべきだ。福経協として、“共同入試”を追求する時代に入った。将来何になるかだけではなく、何をするのかを考え、そのために探求の幅を広げる“学びの共同プログラム”を有した入試にする必要がある。オンラインも積極活用すれば、魅力的なプログラムになる可能性があるし、各大学のブランディングにもつながるのではないか。」との課題提起がありました。

これを受けて、参加校の意見交換を行いました。

### 2. 次年度の学募共同事業について

冒頭、学生募集戦略検討委員会幹事校の淑徳大学 長谷川俊哉事務局次長より、これまでの学募共同事業の実施状況について説明がなされました。続いて、株式会社ボーダーリズム 横地祐人氏より、次年度の施策について提言がなされました。

最後に、淑徳大学 長谷川俊哉事務局次長より、「本日は、募集広報ではなく入試をテーマに勉強会を行った。皆様のご報告のとおり、入試を基軸に大学の学びや魅力をアピールしていかなければいけない。なかなか難しい側面もあることは承知しているが、アジア、世界での競争力を保つためにもどこかで変えていかなければいけないと思う。“人に向き合う”“幸せを追求する”という営みは、人がいる限り絶対になくならないという強い訴えが必要で、その訴えが福祉のブランディングに繋がる。我々はこの取り組みを共同で行う使命があるといえる。今後も同じ志を共にする仲間として、基本に立ち返り、福祉の大切さを考えていきたいと思う。」との閉会挨拶がなされました。

以上、現況の共有、把握に留まらず、今後の取り組みを考える上で有意義な勉強会となりました。